

東海自然歩道のあらし

全国的に都市化や産業開発が進むにつれて、日本人の心のふる里であり、憩いの場所である自然は、私たち国民から遠い存在になりつつあります。この自然を再び私たちのものに取り戻そうという構想から生まれたのが、この東海自然歩道であります。東京の明治の森、高尾国定公園から大阪の明治の森、箕面国定公園まで延長1343.2km、連続する都市地域の背後にある自然地域を通り、既存の国立、国定公園、府県立自然公園や重要文化財を、四季を通じて探勝できるよう、また主要都市からの分割利用もできるよう路線計画されたものであります。

特に奈良県側コースには、柳生の里から春日奥山の自然林、弥生式文化の時代から人々の往来のあった山の辺のみちや多くのすぐれた文化財を室生火山群の景観とともに鑑賞する変化に富んだ楽しみがあります。なおご利用にあたりましては、次の点についてご協力をお願いいたします。

1. 沿線の樹木や、草花、果実などは採らないよう
2. 持ち帰り運動にご協力くださって、ゴミは捨てないよう
3. タバコの吸がらを捨てないよう、焚火はしないようご励行ください
4. あなたの体力、体調にあわせて無理をなさらず楽しい行程をご計画ください

交通略図

